

| | | | | | | | |
|------|--------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 音楽 I E | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 滝沢 ほだか | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 7237 |

●授業のテーマ

保育の現場で必要となるピアノ演奏の基礎技能を習得する

●到達目標

ピアノの学習経験のない者(またはきわめて浅い者)は、『バイエル』を課題とし、半期で60番程度まで終了することをめざす。『バイエル』程度終了以上の学習経験を有する者は、各自の進度に応じた教則本を課題とし、ピアノ演奏技能のいっそうの向上をめざす。

●学習内容(授業概要)

この科目は、ピアノの学習経験のある者となない者、短い者と長い者など、学生のレディネスにかなり差のある科目である。したがってまず初めにピアノの学習経験についてのアンケートをとる。ピアノの学習経験のない者(またはきわめて浅い者)は、『バイエル』を課題とし、半期で60番程度まで終了できるように授業を進める。『バイエル』程度終了以上の学習経験を有する者は、『ブルクミュラー25の練習曲』『ソナチネ』等、各学生の学習経験に応じたピアノ教則本を課題とし、ピアノ演奏技能のいっそうの向上をめざす。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション①(ピアノ学習経験についてのアンケート、練習室の使用等)
2. オリエンテーション②(レッスン時間割の調整、確認、課題の相談等)
3. 学習経験のない者:『バイエル』をまず最初から行い、まず片手で、ついで両手(同じ動き)で弾けるようにする。学習経験のある者:譜読みをしてきた曲を演奏する。
4. 学習経験のない者:『バイエル』で、両手で違う動きができるようにする。学習経験のある者:前回の曲を強弱をつけて弾けるようにする。
5. 学習経験のない者:『バイエル』で、両手で違う動きがスムーズにできるようにする。学習経験のある者:前回の曲を仕上げる。
6. 学習経験のない者:『バイエル』で、和音、スタッカートを弾けるようにする。学習経験のある者:新しい曲の譜読みをする。
7. 学習経験のない者:『バイエル』で、左手が細かく動けるようにする。学習経験のある者:新しい曲を強弱をつけて弾けるようにする。
8. 学習経験のない者:『バイエル』で、タイが弾けるようにする。学習経験のある者:新しい曲を仕上げる。
9. 学習経験のない者:『バイエル』で、Gを起点とする曲が弾けるようにする。学習経験のある者:次の曲を譜読みする。
10. 学習経験のない者:『バイエル』で、四分音符のさまざまな動きを弾けるようにする。学習経験のある者:譜読みした曲を強弱をつけて弾けるようにする。
11. 学習経験のない者:『バイエル』で、八分音符を弾けるようにする。学習経験のある者:授業発表会で弾く曲の譜読みを始める。
12. 学習経験のない者:『バイエル』で、八分音符を四分音符の間に入れて弾けるようにする。学習経験のある者:発表会で弾く曲に強弱をつける。
13. 『バイエル』で、八分音符の細かい動きができるようにする。学習経験のある者:発表会で弾く曲を練習する。
14. 発表会で弾く曲を仕上げる。
15. 授業発表会(ピアノ曲1曲をみんなの前で弾く)

●準備学習・事後学習の内容

準備学習:授業で弾く曲をよく練習しておくこと。

事後学習:授業で指摘された音やリズムの間違いをしっかりと直し、間違えなくなるまでよく練習すること。

●成績評価方法・基準

授業発表会(ピアノ曲)35%、授業およびピアノ学習への取り組み(よく練習しているか、毎回の曲の進み具合など)65%

●テキスト(必携)

初心者は『バイエル』を購入すること。経験者は、各学生の進度に応じて個別に指示するので、担当教員の指示があるまで買わなくてよい(各教則本は、すでに所有している者は改めて買う必要はない。出版社名は問わない)

≪No.1.≫書籍名:『標準バイエルピアノ教則本』、著者名:フェルディナント・バイエル、出版社:全音楽譜出版社、販売先:生協、備考:初心者、バイエル未終了者

≪No.2.≫書籍名:『ブルグミュラー25の練習曲』、著者名:ヨハン・フリードリッヒ・フランツ・ブルクミュラー、出版社:全音楽譜出版社、販売先:生協、備考:バイエル終了程度の者

≪No.3.≫書籍名:『ソナチネ・アルバム』、出版社:全音楽譜出版社、販売先:生協、備考:ブルクミュラー終了程度の者

●参考文献/その他

特になし

●履修上の注意

ピアノの演奏技能を習得するためには、日々の継続的なピアノ練習が不可欠である